＜報道関係者様各位＞

SBI ホールディングス株式会社

2012 年 7 月 10 日

保険の窓口インズウェブ［調査レポート］

日本列島、夏の節電事情　～　節電と対策についての調査を実施　～

■　今年の夏に「節電をする予定あり」87.7%

近年、夏になると暑さの厳しい日が多くなっている気がしませんか？涼しさや作業の効率化など、より快適な生活を求めるとその分だけ電気の消費も増えますが、かといってまったく電気を使わないのでは暮らしにくくなってしまいます。痛しかゆしの真夏の電力事情、世の中の人はどのようにバランスを取って生活をしているのでしょうか。

今回はインズウェブユーザーの皆様に夏の節電対策について聞いたアンケート結果をお知らせします。

※Web 上でも表示しています。（http://www.insweb.co.jp/research/report/vol025.htm）

【調査内容サマリー】

◇ 質問　電気の利用状況について教えてください

昨夏節電した　　・・・・・・・・　はい 61.3%、いいえ 10.7%、できなかった 1.3%、その他 26.7%

今夏節電するつもり・・・・・・・・　はい 87.7%、いいえ 8.8%、できない 1.5%、その他 2.0%

今夏の節電目標　　・・・・・・・・　昨夏なみ 65.6%、昨夏以上 30.2%、昨夏以下 4.2%

◇ 質問　自家発電に興味はありますか

興味がある　・・・・・・46.8%

興味がない　・・・・・・45.0%

その他　　・・・・・・8.2%

≪調査概要≫

調査方法　　**インズウェブサービス利用後のインターネットによる任意回答**

有効回答数　　**600 人**

調査期間　　**2012 年 5 月 13 日～2012 年 5 月 31 日**

■　調査結果の利用について

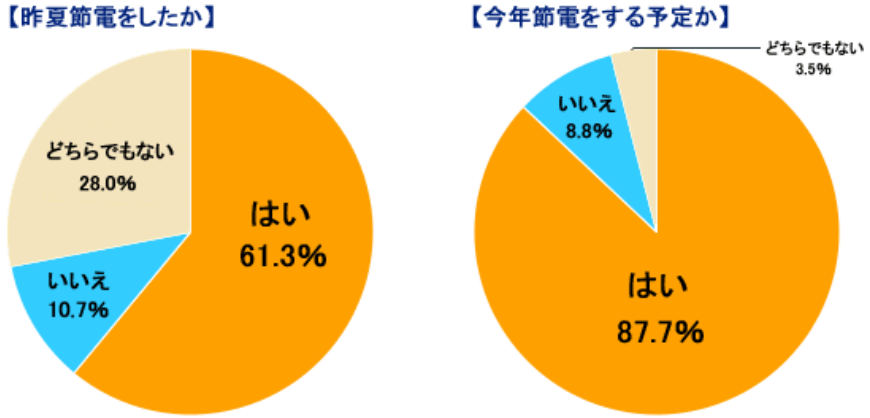
調査結果を掲載等される場合には、「保険の窓口インズウェブ調べ」と記載をお願い致します。

【調査結果詳細】

≪質問 1～3　調査結果　詳細≫

テーマ：電気の利用状況について教えてください

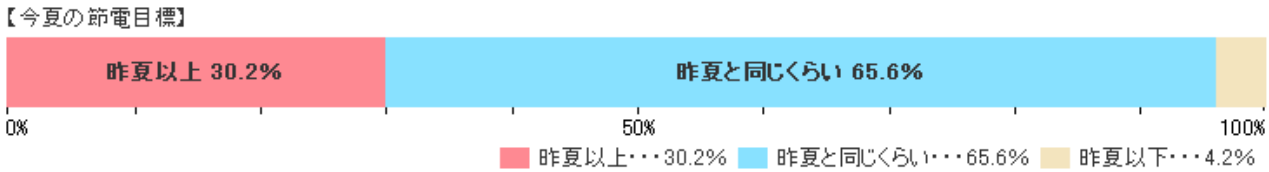
■質問 1「昨年は節電をしましたか」･･･はい 61%、「今夏は節電する予定ですか」･･･はい 87%



自宅などのプライベートの場における節電について、昨夏の結果と今夏の予定を比較しました。
昨夏について、61.3%と多くの方が節電に取り組んだとの回答でした。特に東北・関東地方においては節電せざるを得なかったことを反映して、節電にのぞんだ家庭の比率が高い結果となりました。
また、「どちらでもない」と回答した方の中には、「医療や介護の器具維持のため節電ができない」、「日ごろから節電に努めており、普段どおりだったから」、「計画停電区域該当のために節電どころではなかったから」などの意見が含まれています。

今夏の予定については、電力の供給方法に関する議論が全国に広まったことを受けてか、87.7%とかなりの方が節電にトライしてみたいという回答でした。
節電を「しない」という回答の方の中には、「その時にならないと分からない」**（大阪府・30 代・男性）**など、必要に応じて考えたいという意見が目立ちました。

■質問 2「今夏はどのくらい節電したいと考えていますか」･･･同じくらい 65%、昨夏以上 30%



昨夏、節電をした方を対象に、今夏の目標を聞きました。
65.6%と多くの方が「昨夏と同等」との回答でしたが、なんと 30.2%もの方が「昨夏以上に節電するつもり」との回答であり、節電意識の高まりが感じられます。
昨夏以上と回答した方の中には、「(今夏については）具体的な方法は考えていないけれど、節電方法を考えるのが楽しかったので。」**（埼玉県・40 代・女性）**など、節約の工夫をするうちに積極的になったという意見も寄せられました。

■質問 3　お勧めの節電対策はありますか」･･･昔ながらの知恵と先端技術を組み合わせ、快適さを追求

「がまん」という声もありましたが、健康を損ねてしまっては元も子もありません。あまりこだわりすぎず、できる範囲で取り組みたいものですね。
皆様から寄せていただいた、節電の知恵をご紹介します。

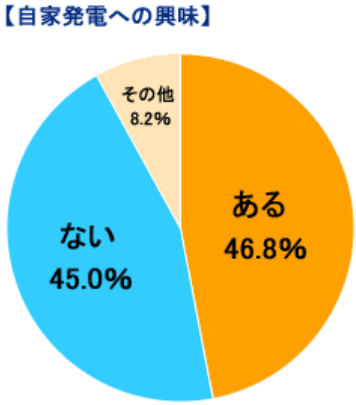
- 床に敷くコルクシートと、ゴザ。眠るときの二枚ガーゼのパジャマとアイスノン。入浴時のハッカ油。**（埼玉県・40 代・女性）**
- 車用のアルミ遮光を窓にとりつける。**（和歌山県・40 代・男性）**
- 照明をＬＥＤに交換すれば、月 2,000 円程度の節電ができる。**（大阪府・50 代・男性）**
- 不在時の待機電力カット。各電気器具の使用電力の把握。ダイエットと同じで、はかってみないと。何をするにも。**（茨城県・40 代・男性）**

▼ 電気は使えば使った分だけ使用料を支払わなくてはいけないもの。ただ、電力不足などの問題から、これまでのように電気を使おうにも使えない事態が発生する可能性もあります。電気の使用状況は天候に左右されることが多く、まさに「天頼み」。このような環境下において、充電器としても利用できる電気自動車が発売されたり、家庭で自家発電機を設置するなどの選択肢が新たに出てきているようです。
そこで、次の設問では、次世代の対策として期待を寄せられる、自家発電についての事情を調査しました。

≪質問 4　調査結果　詳細≫

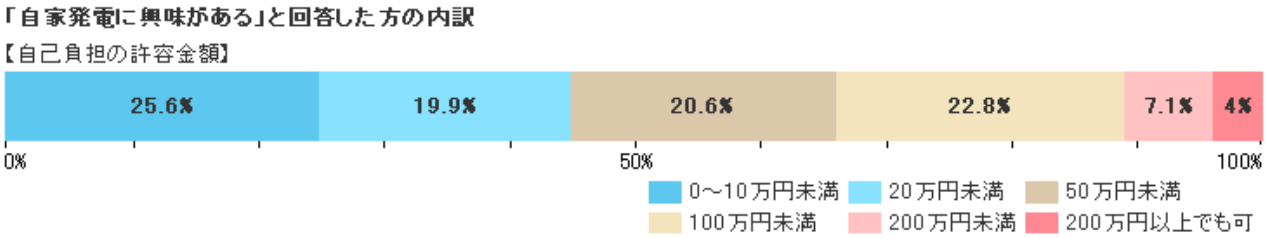
テーマ：自家発電に興味はありますか？

■質問 4-1「自家発電に興味はありますか」･･･ある 46%、ない 45%



エコ電力で自家発電できるとしたら、“自家発電をやってみたいか”について聞きました。
興味が“ある”という回答と、“無い”という回答、それぞれがほぼ同じ程度の割合となりました。
「その他」8.2%の中には、「興味はあるが事情があってできない」などの意見のほか、既に太陽光などの自家発電システムを取り入れている方が含まれており、既設派は少数で、全体の 1.2%程度と分かりました。

■質問 4-2「自家発電に興味がある」と回答した方の内訳は･･･戸建 67%、集合住宅 33%と戸建が大半
設置にかかる自己負担の許容範囲は 0 円から 200 万円未満まで、反応さまざまに



「自家発電に興味がある」回答者は、戸建住宅 67.5%、集合住宅 32.5%という結果です。やはり自由に機器を設置できる戸建住宅のほうが自家発電への興味が大きく、集合住宅の場合は設置場所や管理方法に開発の余地があることなどが、導入をためらう原因のひとつかも知れません。
世帯収入別では、収入の多寡で変化があるというわけでもなく、ほぼどの世帯でも一定の割合で自家発電に興味があるという結果になりました。
また、自家発電の初期投資にかかる自己負担の金額が、いくらくらいまでなら良いと思うかを尋ねたところ、グラフのように「200 万円未満まで」「200 万円を超えても可」という回答が 10%を占め、100 万円未満までの回答が残りの 90%をほぼ四等分する結果でした。
なお、「興味がない」、「その他」の回答者を含めた全体の傾向も同じようなものでした。

■　興味の有無について、それぞれの立場の意見として、次のような意見が寄せられました。
【興味がある・やってみたい】

- 自宅で自分が作った電気を、目で確認しながら使える事に関心が有るからです。**(愛知県・40 代・女性)**
- 海外では進んでいますが、日本ではまだまだ浸透するには時間がかかりそうですね。まず費用がかかりすぎることと、援助が少ないことが問題ですね。**(神奈川県・50 代・男性)**
- 地球温暖化防止としての協力ができそうだから。**(東京都・60 代・女性)**
- 節電コストカットに繋がるし、停電のような非常時に役立ちそうだから。**(山口県・30 代・男性)**

【興味がない・やってみたいと思わない】

- 太陽光パネル、家庭用ガスでの発電等、興味はあるがやってみたいとは思わない。なぜなら、コスト面、維持管理費等が今一つ、はっきり見えないから。また、設置する場所などにも、疑問あり。**(埼玉県・50 代・男性)**
- 今の居住形態（マンション）では自分の意思ではできないと思う。(広島県・40 代・男性)
- まだ周りにいないので様子を見る。**(大分県・60 代・女性)**
- 費用対効果が良くなさそうだから。**(千葉県・40 代・女性)**

【その他】

- 興味はあっても資金のことを考えると現実的ではないため。**(石川県・60 代・男性)**
- 転勤族で、社宅住まいの為、設置は難しい。**(宮城県・30 代・女性)**

▼　今回のアンケートを通して、全体的にエネルギー問題に対する意識の高さを伺うことができました。しかし、発電機器の性能もさることながら、設置にかかるコストや集合住宅への導入の難しさなど、解決すべき問題もあります。
普段なにげなく使っている電気も大事な資源のひとつです。きたる夏にむけて、何ができるのかそろそろ準備が必要ですね。

○自動車保険一括見積もりサービス　～簡単５分で自動車保険を見直し～

＜PC 版＞　http://www.insweb.co.jp/

⇒分かりやすい解説動画はこちら

http://www.insweb.co.jp/0autoins/01howto/howto.htm

＜携帯版＞　http://www.insweb.co.jp/i/auto/mobAuto100.mob

■保険の窓口インズウェブについて

「保険の窓口インズウェブ」は、2000 年にインズウェブ株式会社（ソフトバンク・ファイナンス株式会社とアメリカの InsWeb, Inc.、米金融会社の Marsh、 & McLennan Capital による合弁会社）がサービスを開始した「自動車保険一括見積もりサービス」を中心とした保険比較サイトです。1 回の見積もり依頼で複数の保険会社から見積もりが取れる等のサービスの利便性の高さから、現在までに延べ 500 万人（2011 年 6 月末時点）以上の方に利用されており、インターネットにおける自動車保険比較サイトとして確固たる地位を確立しております。現在の運営会社は SBI ホールディングス株式会社となり、自動車保険のみならず、生命保険・バイク保険・ペット保険等の比較サービスも合わせて展開しており、中立的な立場からより一層のサービス向上と利用者拡大に注力しております。

・自動車保険一括見積もりサービス　　参加会社数：20 社
・生命保険等一括資料請求サービス　　参加会社数：20 社
商品数：約 55 商品
（2012 年 4 月 2 日現在）

■保険の窓口インズウェブ　運営サイト

自動車保険	http://www.insweb.co.jp/
生命保険	http://life.insweb.co.jp/
個人年金	http://life.insweb.co.jp/nenkin/
学資保険	http://life.insweb.co.jp/gakushi/
火災保険	http://kasai.insweb.co.jp/
海外旅行保険	http://www.insweb.co.jp/abroad.htm
ゴルフ保険	http://www.insweb.co.jp/golf.htm
レジャー保険	http://www.insweb.co.jp/leisure.htm
バイク保険	http://bike.insweb.co.jp/

ペット保険　　http://pet.insweb.co.jp/
車保険選びのポイント　http://www.insweb.co.jp/cgi-r/auto/point/list/insurance-product/1.html
保険を語ろう　http://life.insweb.co.jp/aa/life/contents/user_voice/

■保険の窓口インズウェブ　運営会社
SBI ホールディングス株式会社　インズウェブ事業部
〒106-6019 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー20F

■会社案内
http://www.insweb.co.jp/companyinfo/index_auto.htm
SBI ホールディングス株式会社は保険会社または保険代理店ではありませんので、媒介・募集・販売行為は一切行いません。

■お問合わせ
〇Web 上でのお問い合わせ先
http://www.insweb.co.jp/others/contact_auto.htm

〇メールでのお問い合わせ先
insweb_press@sbigroup.co.jp